

早いもので今年も上半期が終わり、今これを書いている7月末ですでにかなりの暑さである。6月は東北の杜の都、仙台で日本皮膚科学会総会が開催された。6年前の震災からの復興と、皮膚科がこれから迎える新時代をテーマに、相場会頭を始めとする東北大学の熱い思いが伝わってくる力強い会で、大変盛況であった。

一方で総会は年々参加者が増え、しかも皮膚科医以外の参加者も多くなっている。大規模になると、当然会場も広く、慣れないと本当に右往左往である。何度もあちこち往復し、おまけにコングレスバッグをもらいに行くと、まだ受付が始まっていなかったりする。また、共催セミナーにも不満を持つ皮膚科医は多いだろう。ライバル会社の学術部署の人たちが大勢詰めかけるセッションだと、お昼の弁当を確保するのに朝から整理券をゲットしなくてはならない。直前に別な部屋にいて、そこから移動するとすでに人は一杯で、聴きたいセッションは立ち見になるが、製薬会社の人たちはしっかり座っている。こうなると、誰のための学会なのか、とつくづく思う。参加費を払っている人は平等に扱われるなら仕方ないかもしれないが、日皮会は何か解決策を考えてもらいたい。

さて今月下旬には、また東北地方で東部支部学術大会が開催される。広く臨床に特化した構成にしておき、語弊を恐れずにいうと、これが本当の臨床皮膚科学会だ、という気持ちである。本誌とのコラボ企画もあり、最後にフリートークの時間もとってある。本誌をより良いものにするために、読者の先生方から忌憚のないご意見をうかがいたい。もしかしたら、思いがけない方が突然お見えになるかもしれない。本当はプログラムに、「ついに登場？ あの方が」とでも書きたかったが、9月23、24日ぜひ郡山市に足をお運びください。

(T.Y.)

特集 口唇・口囲の皮膚病(炎症性)

- ◆editorial 山本 俊幸
- ◆topics
固定薬疹—原因薬剤の変遷と発症メカニズム— 福田 英嗣
フキノトウアレルギー 11例の検討 矢口 順子ほか
- ◆臨床例
Hallopeau型増殖性天疱瘡 江藤 宏光
Melkersson-Rosenthal症候群 渡辺 雪彦ほか
下口唇に生じた開口部形質細胞症 根岸麻有子ほか
ステロイド内服中に感染し非定型的な経過をたどった梅毒 猿田 祐輔ほか
- 歯肉炎に伴った肉芽腫性口唇炎
——オトガイ部にも皮疹を認めた1例—— 三浦 貴子ほか
外歯齧 山本 昭成、和田 康夫
口含み試験で原因を確定しえたアセトアミノフェン
による粘膜アレルギー 吉井 章恵、藤本 亘
造影剤による汎発性水疱性固定薬疹 鷺尾 健ほか
化膿性脊椎炎の術後に発症した中毒性表皮壊死症(TEN) 小林 香映ほか
抗結核薬による薬剤誘発性過敏症候群 坂本 幸子
ロジンにより口唇部に色素沈着性接触皮膚炎をきたしたと
考えられた1例 中川 弘己
ソフトカプセル総合感冒薬にてアナフィラキシーを
生じたゼラチンアレルギー 佐川 展子ほか
口唇口囲に発症したpyodermitis-pyostomatitis vegetans 木村 雅明ほか
ステロイドとDDSの併用が有効であった肉芽腫性口唇炎 伊藤 満ほか
- ◆学会ハイライト
第80回日本皮膚科学会東京支部学術大会を終えて 相原 道子
- ◆皮心伝心
皮膚科と遠隔診療 五十嵐敦之
- ◆蝶の博物詩 西山 茂夫
- ◆診察室の四季 斉藤 隆三
- ◆皮膚科のトリビア 浅井 俊弥
- ◆声(質疑・応答を歓迎します)

皮膚病診療 Vol. 39, No.9(2017)

平成29年 8 月25日印刷

平成29年 9 月 1 日発行

1 部定価2,400円(本体)+税 送料82円

年ぎめ予約購読料35,800円(本体)+税

発売所／丸善出版株式会社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17 神田神保町ビル6階

TEL 03-3512-3256(代表・受注センター) FAX 03-3512-3270

編集人 西岡 清

発行人 山田 淳史

発行所 株式会社協和企画

〒105-8320 東京都港区虎ノ門1-10-5 3階

電話:03-6838-9200(代) 03-6838-9225(編集)

振替口座:00190-0-36746

印刷所 株式会社 恒陽社印刷所

ご購読ご希望の方は直接弊社もしくは書店までお申し込みください。

© 株式会社 協和企画 2017年

・JCOPY <(社)出版者著作権管理機構 委託出版物>

本書の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、(社)出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969, FAX03-3513-6979, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。